公民館だより
由良公民館

由良小学校改築について

改築準備委員会々長　中西孫兵衛

学校建築は由良地区全体の大事業でありますので、区民各位の重大関心事だと存じます。

当由良小学校改築準備委員会も発足以来三ヶ年余、この問題の推進に努力して参りました。その間陳情数回、市長・教育長並びに関係係員の来訪懇談、また委員会も他校の視察全体協議会、小委員会、役員会など四十数回に及んでいます。

これらの経過につきましては、委員さんや自治会長さんを通じて、概要は御了承のことと存じますが、ここに現在の大要を述べて御協力をたまわりたいと存じます。

一、改築の時期

最初の計画では、昭和四〇年、四一年に吉津小学校の校舎、四二年に由良小学校の校舎、四三年に吉津小学校の体育館、四四年に由良小学校の体育館となっていましたが、工事の関係その他の理由で吉津小を全部終えて四三、四四年に由良小改築ということになりそうです。ここ数年に基準の改訂など情勢が変って大分有利になってきましたが、委員会としては工事期間の空間や、最後の全完成年度は変らないということから、やむを得ない場合は市当局へなるべく有利な条件で改築されるよう交渉に当りたいと考えています。

二、学校の位置

現在地か他に求めるかで市当局の意見、学校の希望などを参考にして二三の候補地を挙げ、実地踏査等慎重に協議をかさねてきましたが、現次点では現在地で現校舎の位置が最も無難である、ということになっています。

三、規模構造について

新時代に即応するような鉄筋校舎にして理想に近い規模にしたいと考えますが、国の基準及び補助、市の財政能力などから或る程度制約されるように思われます。学校当局も現校舎の坪数より下まわらないような要望もあり、給食室、幼稚園舎の改築も是非学校改築の計画に入れたいと考えています。

このように今明年度がもっとも重要な段階になりますので、委員会としても本格的な取り組みにせまられています。市当局でも近く細部にわたる立案がなされると思いますが、市当局との折衝を怠らず、具体的な計画が有利になされるよう努力したいと考えています。

この冬の期間中にでも各地区で皆様方に説明申し上げ、御意見をお聞かせ願うと同時に、絶大な御援助をたまわりたいと存じます。改築の着工完成までには前記の一、二、三の問題の他、幾多の難問題が出てまいると思います。特に建築資金につきましては、莫大な額が予想されますので、委員会としましても由良地区の官行造林の伐採など京都営林署当局の方にも強力な申し入れを致しております。いづれに致しましても区民各位の善意ある御支援と熱意がこれらを解決するものであると信じますので何卒よろしくお願い致します。

学校改築に望む

育友会会長　嶺田六郎

現在由良地区民として数年前よりもっとも願望しております学校改築問題が、いよいよ時期到来目前に迫ってきた今日、私達育友会と致しましても、子供の立場、また地区民としての立場よりのビジョンを持って理想的な建築を望むべく努力してまいりました。ある時には地区別に、また家庭教育学級に役員会等話し合いを重ね、特に役員の皆様には理想的な改築をさぐれた網野町の島津小学校へ視察に行って頂いて、将来に悔のない校舎を願ってまいりました。

地区の皆様は自治会長様を通じ再三再四話し合いもあり、御理解下さっていることと確信致しております。皆様も現校舎を見てよく御承知の通りで、児童が安心してのびのびと勉強に運動に活動することの出来ない状態では、児童の将来を思いますとき一日もゆるがせに出来ない問題であること痛感致しております。皆様方も同じお気持と存じます。

いるがえって、私達の諸先輩方が現校舎を建築して下さった当時を思いますのに、府下においてもまれに見る立派な校舎であったことと今もその容姿から推察出来るものがあります。私達も、いかにいえ、こうした先輩各位の偉大な理想を汲みとり、将来由良地区を、いや日本を背負って立つ子供たちのために、地区一貫となって努力しなければならないと覚悟を新に致します。

校歌にもありますように、背には丹後富士ともいわれる雄大な由良ヶ嶽を負い、前には云々と果てしない日本海や一時もたゆまぬ由良川の流れるを望む、名実ともに風光明媚のわが由良。この地区で子供たちが将来情操ゆたかな住民として育つよう、皆様の御理解と御協力のもとに一日も早く校舎改築が実現されますよう、心から願っております。

最後ではございますが、この改築問題が起きまして、より現在兼務に子供たちの立場に立って大所高所より連日の協議、また暁に及ぶ会議等々日夜御努力下さって居りますこと、私たち育友会として心から敬意を表します。今後具体化しますにつれて益々御多忙になることと思いますが、最後まで子供たちの将来のため奮励努力下さいますよう、あつかましくも切にお願い致します。

御寄贈ありがとうございました

今度、左記の方々より公民館の備品としていろ御寄付頂きました。紙面をかりて御礼申し上げます。（順序不同）

一　湯呑茶碗　中西芳三郎殿
一　野球バックネット修理用材　山元久太郎殿
一　白布及び黒幕　田原静殿　大森文子殿

あわたゞしかった本年も、あと数日となりました。

公民館だより第3号は、由良地区にとって大きな問題の一つである小学校改築問題をとり上げました。文部省や宮津市の基準坪数では、バスケットやバレーボールもまともにできない体育館になるそうです。といって、自治会を通じての寄付行為は、小学校が義務教育である限り府教委としてはこれを固く禁じている現状です。改築準備委員会の御努力と、地区民みんなの盛り上りで何んとか立派な学校を建てたいものです。

この一年をふり返ってみますに、外にベトナムの戦火は我々の願いもむなしく拡大の一途をたどり、国内では、空に航空機の墜落あいつぎ、陸では〝吉野の願い〟のスローガンにもかかわらず、交通事故死は新記録。海には零細漁民の遭難が絶えません。我々が最良の人と選んだ国会議員たちは、右も左も親分も陣笠も、地位や金もうけにうつつを抜かし、私腹を肥やすためなら何をしても平気、しかも罪の意識がまるでないときては、もはや救いがたい。これは戦後二十年、経済復興を急ぐあまり、人間尊重を忘れた結果ではないでしょうか。世論の批判にたえかねてか、国会閉散も近いと思われます。現状を打破するには先ず、未だ為すべき選挙に変な因習を捨て、目先の饅頭や、こそ泥のような戸別訪問にまどわされず国民一人一人が正しい投票をすることだと信じます。夢のような話と非難されるかも知れません。しかし高い理想をかかげて一歩一歩その実現に努力することこそ、公民館運動の本旨だと信じます。皆様お揃いでよいお年をお迎え下さい。

編集後記（館長）

（略）